

小噺・落語入門サロン



■ 前座 (今日の話題・話のネタ)

黄表紙 (転失気・トイシ考)

落語歳時記シリーズ

3月の落語 「雛鰐」

植木屋の熊さんが武家屋敷の庭で仕事をしていると、若さまがチョコチョコと出てきた。若さまは庭に落ちていた穴あき銭を拾って、これは何かと三太夫に聞いた。三太夫は、何だかと思うかと聞き返えすると若さまは「丸くて四角い穴が開いている。表には文字が、裏には波形がある。これはお雛さまの刀の鰐と答えた。三太夫が「それは不浄な物ゆえ、お捨てなさいまし」と言うと、若さまは銭をポイと投げ、駆け出して行ってしまった。

長屋に帰った熊さんはこの話をかみさんにする。ガキの金坊とお屋敷の若さまは同じ八歳だが大違い、金坊は親の顔を見れば銭くれとうるさい。かみさんが銭をやるとすぐに外へ飛び出して行った。

そこへお店の旦那が来た。羊羹とお茶を出していると、金坊が帰って来た。羊羹を狙っているのかと思いきや、穴あき銭を振りかざして、「こんなも〜の拾う〜た」と騒ぎ始めた。捨てちまえと言うと、「丸くて四角の穴が開いて、表には字が書いてあって、裏には波がついている。これはお雛さまの刀の鰐か」と、抜けぬけと、わざとらしくやり出した。

これを聞いたお店の旦那は、熊さんの子どもは銭を知らないのかと感心する。熊さん「女房がお屋敷奉公していたので、銭のような不浄なものは持たせないの」

旦那「梅檀は双葉より芳し、末頼もしい子を持って幸せだ。いくつだい？」

熊さん「へえ、本年お八歳に相なります」

旦那「いい子だ、小遣いをあげよう……と言っても銭を知らないか」

熊さん「やい、いつまでもそんな汚い物、早く捨てちまえ」

金坊「やだい、これで焼き芋買うんだい」



■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「プロに学ぶ小噺の話し方」落語の時間 “大安売り 相撲噺”

<https://note.com/rakug0ticktack/n/n8cbf708b7a8a>

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「ぼたもち」「卒業式」とかけて

次回は2025年4月7日(月)「蝶々」「新入社員」とかけて